

平成25年度各会計予算案の大綱

次に、平成25年度各会計予算案の大綱についてご説明申し上げます。

平成25年度予算は、「滝川市総合計画」の2年次目であり、これまでの取り組みの進捗や課題を検証の上、将来都市像を実現するための基本目標の推進に向け事務・事業の効率化を図るとともに、緊急度・重要度を鑑み事業の取捨選択・重点化を行い編成したものです。

現年収納率97.9%を目指した市税の確保、計画的な公債費の縮減などにより、引き続き、市全体の財政の健全性を維持しつつ、今後とも将来世代に負担を極力先送りしないよう努めるとともに、市政執行方針で申し上げました7つの柱に基づき、予算を計上しました。

この結果、

一般会計	202億	500万円
特別会計	116億	5,041万円
下水道事業会計支出	23億	423万円
病院事業会計支出	75億	9,852万円

となり、各会計の歳出総額は417億5,816万円で、平成24年度予算と比較して、1.1%の減、金額では4億5,947万円の減となりました。

次に、会計別の概要を申し上げます。

一般会計におきましては、国の経済対策により有利な財源を活用し、地域経済の活性化を図るため、道路新設改良事業や小中学校の耐震化事業などの公共事業を平成24年度予算に前倒しして補正を行うなどにより、

予算額 202億500万円で、前年度比0.9%減となっています。

性質別にみますと、

人件費については、退職手当組合納付金の精算による増などにより、

予算額 38億741万円で、前年度比1.0%増

扶助費は、介護給付費扶助の増などにより、

予算額 34億7,553万円で、前年度比1.0%増

建設事業費は、先に申し上げましたが、平成24年度予算に前倒しして補正を行うなどにより、

予算額 4億6,857万円で、前年度比41.1%減

公債費は、地方債償還金利子の減により、

予算額 21億7,818万円で、前年度比0.6%減となっています。

次に、国民健康保険特別会計におきましては、保険給付費の減などにより、

予算額 54億7,374万円で、前年度比1.4%減

公営住宅事業特別会計におきましては、建て替え事業費の増などにより、

予算額 8億7,127万円で、前年度比13.8%増
 介護保険特別会計におきましては、
 保険事業勘定が、財政安定化基金交付金の廃止などにより、
 予算額 33億4,662万円で、前年度比1.5%減
 介護サービス事業勘定が、施設利用者の増により、
 予算額 14億2,331万円で、前年度比0.6%増
 介護保険特別会計総体で、
 予算額 47億6,993万円で、前年度比0.9%減
 後期高齢者医療特別会計におきましては、広域連合納付金の増などにより、
 予算額 5億3,547万円で、前年度比0.6%増
 下水道事業会計におきましては、企業債償還の減及び建設改良費を平成24年度に前倒しして補正を行うことなどにより、
 支出額 23億423万円で、前年度比9.2%減
 病院事業会計におきましては、企業債償還の減などにより、
 支出額 75億9,852万円で、前年度比0.4%減となりました。

次に、普通建設事業費の全体予算について、各会計毎にご説明申し上げます。

一般会計では、

東滝川地域体育館増築・消防第四分団詰所建替工事費	1億6,433万円	
土地開発公社公有地取得費	1億1,330万円	
などを含め、総額で	4億6,857万円	
公営住宅事業特別会計では、	5億1,013万円	
下水道事業会計では、	1億3,389万円	
病院事業会計では、	7,996万円	
全体で前年度比20.0%減の	11億9,255万円	を計上しました。

引き続き、施策の主なものについて、ご説明申し上げます。

はじめに、「元気な産業と活力あるまちづくり」についてです。

農業を起点とした元気な地域産業づくりについては、

総合的な補助制度として、

元気な農業づくり補助金 240万円

北海道立畜産試験場滝川試験地跡地利用を推進するため、

畜産試験場跡地利用対策費 109万円 を計上しました。

持続可能な農業のための生産基盤・体制の確立については、

新規就農者の受け入れサポート体制を強化するため、

新規就農者支援助成金 93万円

意欲にあふれ能力の高い優れた担い手を育成するため、

滝川農業塾補助金 200万円

農業生産法人の育成を図るため、

農業生産法人の育成 30万円

農業生産基盤や基幹農業水利施設の整備を進めるため、

道営土地改良事業負担金 4,465万円 を計上しました。

力強い産業の育成・雇用の推進については、

新卒未就職者を対象に民間企業への就職支援となるよう、

ワークシェアリングの実施 261万円

障がい者を対象に民間企業への就職支援となるよう、

障がい者雇用の実施 391万円

国の「緊急雇用創出推進事業」を活用し、

重点分野雇用創造事業費 2,023万円

地域産業の活性化と企業誘致を推進するため、

滝川市産業活性化協議会負担金 350万円

滝川産の農産物の付加価値向上のため、

食のブランド開発補助金 170万円 を計上しました。

新たな産業の育成については、

自然エネルギーの活用を促進するため、

住宅用太陽光発電導入支援補助金 200万円 を計上しました。

次に、「豊かな資源を活かした魅力あふれるまちづくり」についてです。

地域自ら取り組む地域振興事業の推進については、

コミュニティの維持と災害対策の強化を図るため、

東滝川地域体育館増築・消防第四分団詰所建替工事 1億6,433万円

江部乙地区の商工業の存続と地域住民サービスの維持を図るため、

江部乙地区商工業振興施策調査検討事業委託料 240万円 を計上しました。

集客・交流事業の推進については、

観光客の誘致により観光事業の振興を図るため、

たきかわ観光協会補助金 1,080万円 を計上しました。

国際化の推進については、

モンゴル国の農業支援のため、

自治体職員協力交流事業費 553万円

自治体国際協力促進事業補助金 300万円 を計上しました。

次に、「機能的な生活基盤の充実したまちづくり」についてです。

コンパクトで機能的な都市の形成については、

滝川市公共施設マネジメント方針に基づき公共施設の複合化・集約化を進めるため、

ストックマネジメント推進事業費 150万円

町内会が管理している街路灯の電気料の削減効果が大きいLED灯への切り替えを促進するため、

街路灯設置費補助金 1,134万円

都市環状軸の形成に向けた都市計画街路西二号通の整備を実施するための計画策定として、

泉町地区土地区画整理事業費 1,729万円

最終処分場の第2期造成時期を明確にするため、

最終処分場残余容量調査業務委託料 147万円 を計上しました。

公共事業の実施については、

安心して暮らしやすい住環境づくりを目指すため、東町団地1棟目建設工事など、

公営住宅建替・改善事業費 4億9,048万円

子供からお年寄りまで利用できる地域の公園を整備するため、北電公園遊具改築工事など、

公園緑地造成事業費 4,524万円

旧合流式下水道区域の分流化工事として、

下水道合流改善事業費 6,300万円

下水道整備のため、

下水道整備事業費 1,735万円

農村地域における生活環境を改善するため、

個別排水処理事業費 880万円 を計上しました。

賑わいのある中心市街地の活性化については

商店街に「人を歩かせ」、「引き込む」事業を支援するため、

商店街等賑わいづくり事業補助金 100万円

中心市街地における商業機能のあり方に関するアイデア抽出及びソフト事業の展開に向けて、

商業自主研究グループ活動助成事業補助金 10万円

中心市街地における賑わいづくりの拠点としての機能を支援するため、

空き店舗対策拠点事業補助金 100万円 を計上しました。

住宅ストックの適正管理については、

既存住宅ストックの有効活用と住宅産業の活性化のため、

滝川市住み替え促進事業 1,218万円

住宅の耐震改修やバリアフリー改修、断熱改修を促進するため、

住宅改修支援事業補助金 2,760万円 を計上しました。

次に、「誰もが住みよい安全安心なまちづくり」についてです。

バリアフリー化の推進については、

滝川駅前広場の再整備を行い、バリアフリー化を実施するための調査や実施設計として、

駅前広場整備事業費 2,048万円 を計上しました。

地域福祉・自立支援の充実については、

在宅介護の対象者を拡大して、

家族介護用品支給事業費 164万円

歩行に支障のある重度の要介護認定者の対象を拡大して、

リフト付きタクシー等助成事業費 46万円 を計上しました。

安心して暮らせる保健・医療環境の充実については、

「第2次健康たきかわ21アクションプラン」の初年度に当たり、

健康たきかわ21スタートアップ事業 42万円

障がい児または現存する疾患に係る医療を行わなければ将来障がいを残すと認められる児童に対し、必要な医療給付を行うため、

育成医療 150万円

入院を必要とする出生時2,000g以下の新生児医療費の給付を行うため、

未熟児養育医療 541万円

生活習慣病を予防する目的により、

国民健康保険加入者の特定健康診査自己負担金無料化 240万円 を計上しました。

災害に強いまちづくり事業については、

非常対策を迅速に行うため、

防災作業車購入費 714万円

消防・救急救助体制を整備し、充実するため、

滝川地区広域消防事務組合負担金 6億3,001万円

消防活動支援等事業交付金 30万円 を計上しました。

次に、「未来へはばたく子どもたちを育むまちづくり」についてです。

滝川市で教育を受けさせたいと思われる環境づくりについては、

少人数学級制度の拡充を図るため、

35人以下学級の拡充 1,449万円

きめ細やかな指導や支援の充実を図るため、

学校サポート事業費 1,009万円

学校の伝統を活かした特色や魅力をつくるため、

学校の魅力づくり事業補助金 100万円

子どもたちに「食を大切に作る心」を育てていくため、

食育ファーム事業 35万円

子どもたちがエネルギーと食の重要性について「楽しく学べる」ため、

夏休み 滝川わくわく食育・エネルギー育学校事業 160万円 を計上しました。

次に、「市民が活躍するまちづくり」についてです。

市民が生きがいを持って活躍する地域づくりについては、

「まち自慢のパークゴルフ場」の整備に向け、

パークゴルフ場実施設計委託料 714万円

プロ野球イースタンリーグ公式戦を誘致するため、

市営球場整備事業費 284万円

郷土出身の日本画壇を代表する岩橋英遠の生誕110年を記念して、

「生誕110年記念 岩橋英遠展」実行委員会補助金 413万円 を計上しました。

市民活動の推進については、

市民自らの発想や行動力を生かした「市民力」による魅力あるまちづくりを支援するため、
未来へつなぐ市民力推進事業補助金 300万円 を計上しました。

町内会活動の推進については、

町内会連合会及び単位町内会が行う「ふれあいを深める活動」などのため、
滝川市町内会等活動促進事業補助金 100万円 を計上しました。

次に、「効率的な行政運営によるまちづくり」についてです。

議会中継の導入については、

市議会をより身近なものとするため、
インターネット議会中継費 101万円 を計上しました。

戸籍事務の広域化については、

中空知5市5町による共同事業として、
中空知広域圏戸籍総合管理システム共同運用費 6,895万円 を計上しました。

汚泥等処理（MICS）事業については、

し尿などの効果的な処理の促進を一層図るため、
汚泥等処理（MICS）事業交付金ほか 1億6,624万円 を計上しました。

第三セクター等の経営健全化については、

土地開発公社が先行取得した公有地を取得し、将来負担を軽減するため、
公有財産購入費 1億1,330万円
個別事業の見直し、経費節減などによる経営改善を促進し第三セクター等の経営を支援するため、
土地開発公社貸付金 10億1,000万円
滝川振興公社貸付金 6億5,300万円
滝川グリーンズ貸付金 3,580万円 を計上しました。

次に、これらに見合う平成25年度一般会計歳入の主なものについてです。

市税については、現年収納率97.9%、滞納繰越分11.6%、合わせて87.4%の収納率を確保する予算となっています。景気低迷による個人所得の減少も引き続き影響を及ぼすと予想されるものの、平成24年度の決算見込みにより個人市民税を増額で見込みました。また、市たばこ税は、健康志向によるたばこ離れなどから消費本数は大きく減少すると予想されますが、道たばこ税との調整に伴う税率改正により増額を見込み、市税総額として、

対前年1,243万円増の 42億3,223万円

地方交付税については、普通交付税、特別交付税を合わせて、

対前年1,097万円増の 73億2,157万円

その他の歳入といたしまして、

国庫支出金 25億2,996万円

道支出金	9億	394万円	
市債	8億9,805万円		を計上しました。

基金繰入金については、対前年1,028万円減の5億1,422万円を計上しております。

以上、平成25年度の各会計予算案の大綱について申し上げます。

厳しい財政状況の中ではありますが、公共事業の実施だけではなく、戸籍事務の広域化や土地開発公社の解散に向けた取り組みなど将来負担の軽減に努める予算としました。市民の皆様、市議会議員の皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げ、慎重なるご審議と適切なるご決定をいただきますよう重ねてお願い申し上げます。